

2026年4月14日 第3565回例会 会場：川越プリンスホテル5階

会員数 96名 免除出席 11名 正会員出席 47名 出席者 58名 出席率 68.24%

プログラム

点鐘 (12:30) / ロータリーソング (第2例会: 我等の生業・R-O-T-A-R-Y) / ビジター・お客様紹介 / 卓話講師紹介 / 会長の時間 / 幹事報告 / 委員長報告 / ニコニコボックス / 出席報告 / 卓話 / 点鐘 (13:30) (司会: 山崎 S A A)

《ビジター・お客様紹介》

ドマさん (青少年交換留学生)

吉澤亜矢子様 (ホストファミリー)

夏井純一様 (東京バリアフリーマインド RC)

《卓話講師紹介》

イニシエーションスピーチ

新井俊宏会員、井上信明会員

会長の時間

2025-26年度 会長 吉澤 徳安

臨時理事会報告 5月～10月末までクールビズとして、ノーネクタイでの例会参加が承認されました。



8日 東京 RC にメーキャップ

12日川越市護国神社の例大祭に参加。護国神社の例大祭は明治14年に開催以来、西南戦争で亡くなった方々を慰霊するため4月12日に一回も欠かさず開催されており、現在は2978柱が祀られていると山田宮司より説明がありました。氷川神社の後ろにある300本ほどの誉れ桜は、亀屋栄泉の中島さんがご子息が戦争から帰られたときにきちっとお迎えをしたいということで植えられたそうです。また、山田宮司より、今年は昭

和百年、戦後80年、我々の今の平和というのは、そういう方の上に乗っかっているというお話がありました。

宮本常一著の「忘れられた日本人」を紹介します。元々は劇作家木下順二らが刊行した「民話」に「年寄りたち」という題で寄稿されたもので、意味合いとしては、年寄りたちが共同体において、どういう役割を果たしてきたのか、そうした年寄りたちの持っている民話的世界が、現在の生活とどのように地続きになっているのかが書かれています。この中で面白かったのは『村八分』という言葉です。この考え方は江戸時代からあったのですが、一般化されたのは明治以降だそうです。江戸時代以前は、共同体のしきたりを守らない人であってもある一種のインクルージョン(包摂)の仕組みは日本の中にあっただけです。その例として『乞食の女』という話があります。昔、乞食の女を皆が虐めており大尽の息子が「やめろ」と言うと一緒にその虐めはなくなった。虐めがなくなり、村人がその女に関心がなくなった結果、その女は、「これまでは自分は食べ物を分けてもらっていたが、分けてもらえなくなった。」と大尽の息子に文句を言いに行っただけです。今の世の中は、虐めそのもの自体が悪いことだと言って、一生懸命やりますが、実はそのいじめの裏側にあるのは、その人たちに対する関心であり、その関心の中に、その人たちのために、少し面倒見とこうかなどの、良いか悪いかは別として、この持ちつ持たれつの関係が日本的なインクルージョンだと思います。

「忘れられた日本人」を読んで感じるのは、この虐め例だけでなく、現在、我々が普通だと思っていることは、実は明治以降のいわゆる国民国家形成の中で作られた概念であり、わずか200年の歴史しかないものだということです。それまでの1500～1600年は、我々は違う論理で動いていたと言うことを、再度、見直す時期に来ているのではないのでしょうか。

幹事報告

2025-26年度 幹事 高橋 哲彦

・新会員について異議無しのため、入会手続きに進む

- ・配布物:会報、米山梅吉記念館館報(協賛者のみ)、ハイライト米山No.313、ロータリーの友、同要約版、
- ・回覧:ガバナー月信4月号(地区HPでもご確認可)
- ・埼玉県緑の募金(1口千円)の実施
- ・次年度事業計画記載変更届の記載について
- ・4月28日の移動例会(場所:養寿院):11時集合、11時半開会、座禅体験後に食事という流れで、13時閉会予定。服装はジャケット・バッジ着用、ネクタイ不要

委員長報告

- ・ロータリーの友4月号:中野文夫広報委員長
- ・次年度臨時理事会報告:野溝守会長エレクト
- ・次週卓話担当:八木拓也地区DEI委員長

ニコニコボックス

●東京バリアフリーマインドロータリークラブ夏井淳一様、ようこそ川越ロータリークラブへ、例会を楽しんで行って下さい。<会長、幹事>●ドマさんホストファミリー吉澤亜矢子様ようこそ川越ロータリークラブへ、例会楽しんで下さい。<会長、幹事>●新井俊宏会員、井上信明会員本日の卓話よろしくお祈いします。楽しみにしております。<会長、幹事>●東京バリアフリーマインドロータリークラブ夏井様、ようこそおいで頂きました。楽しんでいって下さい。<野溝、京野、井上、相原、今泉(博)、小谷野>●本日、イニシエーションスピーチです。よろしくお祈い致します。<新井>●本日お話しさせて頂きます。ひきつづきよろしくお祈い致します。<井上>●新井会員、井上会員、本日のイニシエーションスピーチよろしくお祈いします。楽しみにしています。<神谷、長岡、住谷、山崎(大)、相原、山田(和)、小杉、山田(哲)、栗原、齊藤(智)、水村、的矢、近藤、小川、佐藤、和田、八木、津田、山崎(共)、小高、小谷野、片山、野溝、小橋、岩堀、町田、石井、西澤、鈴木(崇)、馬場(常)、中野(文)、中田(浩)、金剛>●森泉会員城北埼玉中学・高等学校、理事長就任おめでとうございます。そしてインターアクトクラブの設立よろしくお祈い致します。<野溝、京野、堀尾、鬼頭>●先日、宇都宮東警察署から封書が届いており何事かと思ったら、落し物のお知らせでした。(キャッシュカードと運転免許証)先々週遊びに行った時に落していたみたいです。日本っていい国だと思いました。<小林(勇)>合計58,000円

卓話:イニシエーションスピーチ

新井俊宏(あらい としひろ) 会員

昭和42年2月1日生(59歳)。第一生命保険に35年前に入社し、15年前に当時最年少で支社長になり、現在は最年長の支社長。

生まれは新潟。幼少期は父の仕事の関係で、小学校は5回転校。趣味はプロ野球観戦。現在、単身赴任21年目。家族は妻と長男(29歳)と次男(26歳)。転勤族の私が反面教師で、二人とも転勤のない公務員。



私の「トリセツ」は、①お酒は一滴も飲まない(15年前までは大酒豪)、②趣味は読書(30代までは漫画大好き人間、今は年百冊読書)、③15年前は104kg(今は、健康オタク)、支社長歴15年、営業管理職歴25年(35年前まではシステムエンジニア)。それぐらいかなり極端な人生を歩みました。

最後に、私が仕事で心がけていることは、お客様ためになっているかを大切にしています。また、日本ではガンで命を落とす人が先進国の中では増えているので、ガン検診の推進に力を入れています。

井上信明(いのうえ のぶあき) 会員

現在、埼玉総合医療センター小児科に勤務。

家族は家内と3人の子ども。奈良市出身。長女はイギリスの大学院に進学予定。長男は、カリフォルニア州のコミュニティカレッジで勉強中。次男は、国際基督教大学附属高校在学中。



私が医師の道を志したのは小学校4年生の時。夏休みの読書感想文の宿題で、シュバイツァー博士の伝記を読んだのがきっかけ。この伝記を読んだときになぜか私の中に何かが降りてきた感覚があり、特に、十分な医療を受けることができない途上国の子供たちのために働きたいと強く思うようになり、小児救急医になることを志しました。医者になってからは、最先端の小児救急医療が学びたいと思いアメリカに行くことを志し、ハワイ、カリフォルニア州の病院で研鑽を積み、オーストラリアの病院で勤務後、2010年に祖国日本に貢献したいという思いで東京都立小児総合医療センターで日本初のアメリカ型小児救急部門を立ち上げ、その後国立国際医療センターで、モンゴル・ブータンでの国際協力、特に人材育成に注力しました。最後に、シュバイツァー博士が残した言葉を皆さんと共有します。「本当に幸福になれるものは、人に奉仕する道を探し求め、ついにそれを見いだしもの。これは私の確信である。」